

若者が考える、男女共同参画社会の未来

【参加者】

- 大友 悠楓 東京農業大学第二高校 3年
- 林 和芭 四ツ葉学園中等教育学校 6年生(高校3年)
- 中野 友葉 高崎経済大学 2年
- 木曾 雅也 群馬大学 1年
- 勅使川原千裕 保育士
- 小高 広大 特定非営利活動法人 Next Generation 代表



今日はネクスト・ジェネレーション(以下ネクジェネ)が主催する「前橋市高校生学習室」のみなさんに、男女共同参画社会についてお聞きします。

自分たちの未来をどう考える？



——— まず皆さんの将来の夢はなんですか？

- 林 将来は会社を起業して、今までにないものを創り出していきたい。
- 大友 教育につながる事業をおこしたい。自分の構想やアイデアが活かせる分野を希望しています。
- 勅使川原 高校時代は志望に迷っていましたが。今は資格を取って、幼稚園教員を目指しています。
- 小高 子どもの変化を見るのが楽しい。社会に関わる仕事をしていきたいですね。

——— ネクジェネと関わったきっかけは？

- 木曾 色々な人と話をして、自分を見つめ直すきっかけにしたかった。自分では話が苦手だと思っていましたが、ネクジェネに来てコミュニケーションのコツが分かったような気がします。
- 中野 シニア対象の活動もしています。いろいろな世代とふれあえるのが楽しいと感じます。

結婚について考えること

——— 結婚についてはどうですか？

- 中野 結婚は、仕事に就いて経済的に自立できたらしたい。
 - 大友 結婚はしてもしなくてもいいですね。仮にするとしたら、若いうちだと思います。
 - 木曾 私は、自分自身の家庭が好きで、よい場所だと感じています。そんな家庭を作るために結婚をしたいと思っています。
 - 林 好きな相手ができたら結婚したい。するなら若いうちにします。
 - 勅使川原 中高生の頃は、25歳で結婚したいと思っていました。今25歳です(笑)。
- 結婚は気持ちだけでは難しい。今は子育てのできる環境になったらしたいですね。



若者が考える「男女共同参画社会」



——— 男女平等についてどう考えますか？

- 木曾 昔は「男が稼ぐ、女が家を守る」でした。現在はそれは難しい。パートナー同士仕事をして、家事や育児は相談しながら分担するのがいいと思います。早く帰れる方が料理を作るとか。
- 勅使川原 今の保育所を見ていると、両親が交代で送迎をしたり、平等ですね。
- 中野 母は結婚して仕事を辞め専業主婦になりました。私は結婚で仕事を辞めたくないですね。自分のために仕事を続けたい。一方で育児の時間も必要です。育児を平等にできるようになって欲しい。
- 大友 育児や家事は分担が前提。父は育児休暇を取っています。
- 小高 理想は週30時間くらい働く。後は別に小さいビジネスをする。仕事と家庭を考えると、そのくらいがバランスが取れていいかと感じます。

——— 皆さん、貴重なご意見をありがとうございました。(記事：高坂)